

毎月一回十五日發行（定價一部五錢一年郵稅共五十錢）



編輯 香山 針塚 長太郎 發行所 香山中野市 印刷所 香山中野市

年頭の辭『活躍の要望』

針塚 長太郎

昭和十年の新年を迎へて諸君の健康と幸福とを祈る。願われれば昨年は、實に不幸の年であつた。風水害あり、旱害あり、冷害あり、一般としては經濟界の不況は彌深刻を極め農村の困憊言語を絶し蠶絲業者の苦境益々急迫を告ぐ、洵に苦難の極であつた。去りながら一面から見れば又實に感謝の年であつた。何故なれば人は平和に慣れ順境に處するときは自から活動力を失ひ修養に流れ知らず知らず衰運を辿るものである。乃ち逆境に活き順境に滅るのである。蠶絲業不況の爲めに國民は之が打開策の爲め焦心精勵し其結果綿絲利用のメルト發明となり擬製毛布となり洋服地となりトレーシング紙となり其他多數の綿絲利用の新製品を見るに至つた。特に著しきは生絲を原料として米國にのみ輸出する我國蠶絲業は之を製品として汎く全世界に顧客を求めんとする氣運を促がしたる事である。加工品輸出の大轉換機を促がしたることである。乃ち不幸は實に勇氣ある者には感謝すべき天の教訓である。洪自誠は曰く『居て逆境中、周身皆鐵砲礮石。砥節礪行而不屈。處順境中、滿前盡兵刃戈矛。銷骨磨肉而不屈。』其意味は逆境に身を置けば自から身心の砥礪が出來て而かも自分で之を自覺せぬ。之に反して順境にありては知らぬ間に自墮落放棄になりて終に身を滅するに至ると謂ふのである。特に我同窓諸君の如き元氣發洩たる向きの氣分の横溢せる諸君は正しく此の意氣を以て躍進せられんことを希望して止まない次第である。何れの場合に處しても境遇の利用に念到せざるべからず。古聖曰く『富貴に處しては富貴を行ひ貧賤に處しては貧賤を行ふ。君子行くとして可ならざるはなし』と。寔に至言と謂ふべきである。

今や日本は凡有ゆる部門に於て躍進を要する時である。就中蠶絲業の行詰りを打開するには製品化して世界を相手として活躍すべき事は勿論であるが内地の農村を救済する上からも計畫を立てねばならぬ。之が爲めには種々の途があるが第一には纖維工業を農村に誘致するも一法である。従来主として大都會の郊外に集積せるものを地方の都會に分散せしめ農業生産物を販賣するに便ならしめ或は勞力の利用を計るべきである。日本の如き過少農業を營む處に於ては勞力過剩にして而かも收利の道なき儘に放置する時は如何に農村の醇朴堅實性を維持せんとし得るべきか、矢張衣食を足らしめて、禮讓を起さしむることが急と考へらるゝのである。第二は工業會社より機械

謹賀新年

山本三六郎著 化學純絹絲の完成 工業的完成 伊太利蠶絲絹業の衰退原因と其現況 菅原勇治著 蠶絲業法規要論

¥2.30 ¥1.50 ¥0.30

市田上縣野長 會究研學科絲蠶 所行發

〔振替長野6413番〕

を家庭に貸付けて賃機を織らしめ農家は其の賃銀を得る方法を講ずるも一方法と思ふ。之には賃機組合を設くる事が必要かも知れぬ。委託する家は工場に永年働きて退場し家庭の人となりたる者を選ぶは相互有利なるべしと思はる。第三は工場とは無關係に第一は自家用を目的に置き農家の自給自足の立場から出發するものにして其過剩生産物は之をまとめて市場に販賣する方法である。例へば上州紬の如きものである。第三は屑物の整理事業か又は手藝的美術製品に從はしむべきである。例へば現に或地に於て行はる「ネクタイ製織、眞綿加工の如きものである。第四は軍用手套の如き軍部と聯絡をとりて國防費を努めて農家に潤はしむる様に行使する方策をとる事も大切なりと信ず。要するに蠶絲業を活かし農家を活かす目的を以て諸般の計畫を立てるの急務なるを覺るのである。

而して一面に於ては今日の所謂多角形農業を行はしめ従来餘りに交換經濟圈内に進入し過ぎたるを引戻して農民の立場を安定させる事が必要である。余の如此農村的健全なる發達を力説する所以は何れの國に於ても國民の大部分は農業者であり平業の原料の生産は農業者に待ち製成品消費者の大部分は農業者であり工業労働者の大部分は農村地方より求め國防に當る健全なる兵士は多く農村より出づる等を鑑みて堅實なる商工業を發達維持せしめ健全なる社會状態を維持せしむる

謹賀新年

二五九五年代表型

現代乾繭機界ノ王座 大和式自動輸送乾繭機

【各種型錄贈呈】

製作發賣元 株式會社 大和三光商會

東京京橋區京橋三丁目二番地 電話京橋(56)五三二〇番

營業課目 特許大和式自動輸送乾繭機 特許大和式自動人絹乾燥機 特許帶川三光式乾燥機 特許やまやホ水イ裝置 特許サンケー式濾過淨水吸熱器 特許サンケー式廢湯ポンプ 特許サンケー式高壓ポンプ 特許サンケー式トラップ

爲めに必然的に農業の否農村の安寧鞏固なる事を要素とするからである。そこで吾人は深き決心を以て今後此の方針の下に躍進を期すべきである。人或は謂はん『國家とか社會とか謂ふ事を考へる遠なき迄に國民の生活は行詰つてゐる。既に世の中は滔々として個人主義に突入してゐるから先以て此の方面から指導をせざればならぬ』と。或は然からん。さりながら能く考ふる時は現實の社會に於ては絕對の個人主義は成立すべくもない。皆相互關係に立つものであるれば各個人全體の利益を目標として進まざれば幸福なる文化生活は遂ぐる事は出來ない。結局個人を醇化し美化して行つて始めて健全なる社會生活國家生活をなし得るのである。此故に個人は自己を利すると共に他をも利する事を念頭に置き行爲に節制を加へ反省的生活に入るやう指導を要し場合によりては適度の國家的統制を必要とする所以である。現下蠶絲業救済の爲色々或る程度の統制の叫ばるゝは之が爲めである。幸に諸君の一考を煩はした。余は舊冬諸君の代表的會合に缺席し親しく快談に接するの機を逸し甚だ遺憾に堪へない。茲に年頭に際し卑見の一端を吐露し、併せて陳謝の意を表する次第である。幸に諒とせられん事を望む。

近代科學界の寵兒 『重い水』の紹介

T. Y. 生

水程吾人の生活に必要にして又親しみある物質は渺い。吾人は其の密度を質量の単位とせる計りてなく、其の比熱は熱量の単位としてある。又其の融點は零度沸點は百度として温度測定の基準としてある等、水無くして吾人の生活は有り得ない。此れ程吾人は水を純粋、單一なものとして考へてゐたのである。而るに驚くべき科學の力は終に水よりも重い水の發見を成さしめるに至つた。加洲大學の Lewis 教授に依り電解法で『重い水』が確實に得られたるは未だ昨年(一九三三)の夏の事である。水の分子量 H₂O = 18 と信じて居た吾人の前に H₂O = 20 の水の混在が證明せられた。

科學界は俄然緊張し、新進學徒の研究の的と成つた。而し此の重水の發見を成すに至るまでには『重水素』Heavy Hydrogen の發見がある事を忘れては成らぬ。

一、重水素

重水素とは質量の大なる水素の意味であつて從來の水素原子の質量を一とすれば重水素の質量は二である。此の重水素の確定的發見は米國コロロンビア大學に於ける Brickwell 氏等の實驗に基づくもので實に一九三一年十二月の事である。此處に於て水素に二種ある事が明かとなつたので從來の水素を H (Protium) 重水素を H² (Deuterium) として區別する事としてゐる。とは H² も水素に異ひ無い。唯從來の水素原子 H¹ の中心核は質量一、陽電荷一、を有するに對して H² は質量二、陽電荷一、を有する事が異なる。外圍に一個の陰電子を有する事は同一である。従つて週期律に於ても結局同一の場所を占めるのである。斯の如きものを同位元素と名づけてゐる。吾人の普通取扱つてゐる水素は大體 H¹:H² = 1:5000 即ち約原子率にて 0.002% の H² を含む。

此の割合は水素の化合物に於ても同様である。同位元素の存在は獨り水素のみでは無い。例へば炭素は二個(十二、十三)窒素も二個(十四、十五)酸素には三個(十六、十七、十八)、鹽素は二個(三五、三七)、鐵にも二個(五四、五六)鉛には六個(二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二二、二二三、二二四)の大世帯である。斯の如く同位元素は他の元素にも多数存在してゐるが此れのみでは些程重要な事柄では無いのである。重水素發見の重要性は其の質量が元來の水素 H¹ の二倍にも及ぶ事である。

斯の如き事柄は未だ他の如何なる元素にも存在せぬ事である。重水素 H² が H¹ の二倍の質量を持つこと、ふ事は物理化學的或は生理學的性質に於て必然的に他の同位元素に見られぬ様な性質の差異を示す事は當然である。其の後重水素化合物が續々と製造せられ其の性質が研究せられてゐる。從來の水素化合物の水素を重水素で置換へる事により吾人の想像も出來ない性質の化合物が現出するかも知れぬ。それだけ將來の研究に興味を喚起してゐる。單に『トランキニ』 NH_2NH_2 、 NH_2NH_2 、 NH_2NH_2 、 NH_2NH_2 の四種がある。尙又此の頃 Bleaker 氏に依り超重水素(H³)の存在も確認せられたが其の濃度は 0.000001% 以下過ぎぬ。

二、重水

以上より水には少くとも H¹OH¹、H¹OH²、H²OH² の三種が存在する事は明かである。勿論酸素にも O¹⁶、O¹⁷、O¹⁸ があるが O¹⁷ は極めて僅少で O¹⁶:O¹⁷:O¹⁸ = 500:1 の割合に存する。而して同位元素の性質の差異が少くとも定性的には其の質量の差によりて定まるものとすれば O¹⁶、O¹⁷、O¹⁸ の差異は H¹、H² の差異に比して極めて僅かのものでなければならぬ。『重い水』の製法は後述し

て其の性質をのべる事にしたい。

三、『重い水』の物理性質

今『重い水』H²O (Deuterium Oxide) と通常の水とを比べると次の様な差異がある。

Table with 2 columns: Property (比重, 沸點, 凝固點, 氷點, 氷の融點, 氷の融點, 氷の融點, 氷の融點) and values for Heavy Water and Normal Water.

即ち重水は海水の比重(1.011)より重く普通の水が零度で對し約四度で氷結する。尙又重水の蒸發熱は五分子につき二五九『カロリー』も大である故『ポイター』に使用すれば多くの燃料を要し、洗濯物も早く乾かなし、が道路に撒水すれば効果が多い事になる。此の外重水中に於て『イオン』の易動度(mobility)を計つて見ると常水中に於けるより非常に減少してゐる。斯く重水は輕水とは全く別化合物の如き観がある。

四、『重い水』の化學性

今重水中に吾人の使用する通常の『アモニア』NH₃を溶解したりとすれば H₂H₃O⁺ + NH₃ = H₂NH₂O⁺ + NH₃ の如き交換反應が行はれ『半重水』monodeutero-ammonia を生ずる。斯の如き反應は『アモニア』に限らず凡そ『イオン』結合を成せる凡てのものに起り得る。例へば『鹽化アンモニウム』NH₄Cl の如きは四個の水素全部が交換を起す。而し原子結合を成せるものは交換を起し難い。蔗糖に於ては重水中にて水素基の水素原子のみ重水素により置換され、炭素に直接結合する水素原子は置換されぬ。醋酸(CH₃COOH)安息香酸(C₆H₅COOH)の如きものに於て『メチル基』(CH₃)『フェニル基』(C₆H₅)の水素は重水素により置換される。尙無機鹽類の溶解度を見ると重水中では著しく減少してゐる。例へば九二%重水に對する食鹽、鹽化バリウムの溶解度は常水に比して一五—二〇%減少してゐる。此等の點より見ると重水は一般に化學的に不活潑であると思像せらる。而し必ずしも反應の速度が遅いのでなく蔗糖の轉化を重水の硫酸性溶液中で行ふと常水中に於けるよりも轉化速度が著しく大である。とに角未だ研究が淺いので不明の點が多い。

五、『重い水』の生物に對する作用

重水の性質中最も興味あるは蓋し生物に對する作用であらう。實驗に依れば煙草の種子は純粹の重水中では發芽不可能である。淡水魚は九二%重水中では三時間て死亡する。青蛙の『おたまじやくし』も同様であつた。尙 Lewis 教授が小鼠(mouse)に六六瓦の重水と與へたところ鼠は明かに一種の酩酊症狀を呈した。高等動物に對する詳細な研究は未だ不十分である。この様に高濃度の重水は生物體に有毒な事がある。

重水の有毒作用の原因は不明であるが葡萄糖の『アルコール酸酵』が重水中にては通常の蒸溜水に於けるよりも九倍も速い事を見れば酵素に對して著しき作用を有する事は確實である。而し有毒物も微量なれば刺激劑となる事もあり得る故稀薄水が生物に對して如何に作用するかは一般生理學上、醫學上面白い研究題目である。一般に同位元素は其の産地の如何を問はず混合の割合は常に一定してゐる。水に於ても又此の事が言へる。即ち水素、水、水素化合物に就て測定の結果は矢張り H¹、H² 含有量の間に何等の差異も發見せられない。而し重水の場合には此れがどの點まで正しいか疑問である。此れは重水が輕水よりも不揮發性である事や生物體中で分離濃縮が行はれると考へられるからである。大洋の水は河水、湖水よりも H² 含有量が大きである。測定の結果

死海の水は常水に比し百万分の二—三大なる H² 濃度を有してゐる。生物界に於ては牛乳、血液、尿、果實中の水は天然水と H² の含有量は變りない。而し蜂蜜、柳の壓搾汁の如きは百万分の三—五常水より餘分の H² を含んでゐる。

六、『重い水』の製法

重水素が水或は水素中に於ける含量は原子率にして僅か 0.002% に過ぎないが其の材料は無限である。故に重水研究に最も困難を感じるは原料の不足にあらずして如何にして低廉なる重水を多量に得るかにある。通常の水を用ひ電氣分解を行ひて水素と酸素とに分つとき H² は恐らく少く異れる電解槽を有すると思はれ H² の方が H¹ よりも電解によりて逸散し難い。此の理を應用して重水を始めて得たるは先に述べたる Lewis 教授である。氏は電解槽のアルカリ溶液を用ひ、電解を行ひて漸次濃縮し、炭酸瓦斯にて處理し、次に真空蒸溜を繰返して精製し純粹なる重水を得た。現在行はれる重水製造法も此の原理を元としてゐる。此の方法は重水素と輕水素の如く質量の差が顯著なる同位元素には有利な方法である。電解濃縮に酸性水溶液(例へば一〇—五%硫酸溶液)を用ふる酸性電解法、鹽基性水溶液(例へば二%苛性曹達)を用ふる鹽基性電解法、硫酸曹達の如き鹽類を用ふる鹽基性電解法等があるが鹽基性電解法が最も一般的である。斯く重水は今や科學界の寵兒として全世界に於て研究せられ其の波及するところは單に化學界に止らず、物理學、生物學、醫學其他あらゆる科學の部門に其の翼を延きんとしてゐる。米國に於ては既に重水素製造會社が設立せられ其の製品は我國に輸入せられた。英國、諸國にも製造會社が設立せられたと聞く。我國でも東京の理化學研究所、大阪の鹽見理化學研究所、其他各大學に於て研究に餘念が無い。

姓名閑話

中曾根長男

生れて己が耳に聴き眼に映じて最も敏感に注意意識を集中するは自己の姓名であらう。今日自治社会に於ては人は姓名あるが故に認められ使用され統制が取れるのである。各自が姓名を尊重され尊重するは當然である。此處に千古に類なき偉人君子存在せりとするも之を代表する呼稱なくば泥中の玉と等しく何等世に出で残る事もない。故に假令本人が名乗らずとも世人は之に代名詞を附して尊崇し敬愛し歴史に傳へてゐるのである。之は古來よりの習性で恐らく姓名は世界歴史の續く限り靈魂と共に永遠の存在であらう。故に吾人は生命を輕んじても名を重んずべきを古人より言ひ傳へられ又自覺してゐる。然るが故に吾人自他共に姓名を尊重し

趣味の課外製作

東京 菅野 生

生徒をして理科に興味を持たせ、少しでも實生活化して見たいと思ひ、放課後や休日を利用して生徒と一緒に課外製作を試みた。勿論相手が女學生だから大した事は出来ないがその二、三を要項のみ以下記して見たいと思ふ。

(一) インキの造り方

私は四年程前から生徒にインキを造らしてゐる。そして展覽會やバザーなどは五十瓦入一個を十錢で即賣してゐる。造つてみれば大してむづかしいものでもない。次に其の要項を示す。

- 第一液 硫酸第一鐵 五瓦 水 一〇〇cc
第二液 流動石炭酸 四cc アラビヤゴム 七瓦 水 三五〇cc
第三液 夜食子酸 八瓦 タンニン酸 八瓦 水 二〇〇cc

- 1、アラビヤゴムは温水で溶いてガーゼで濾した方がよい。
2、色素は獨逸製のソリニユールブルーIがよいやうだ。色素の種類によつてインキの色合が違つて来る。この色素を溶くには鍋のやうなもので充分に攪拌しながら煮ればよい。溶解が不充分であると粘りの多いインキになる。この色素は一瓦五錢位で薬店で賣つてゐる。
3、以上四種の液が出来上つたら一定の容器に入れて混ぜる。そして暫らく放置すると沈澱が底部に少しく溜まる。其の上層のみを小瓶に移せばよい。移すにはサイフォンを應用すれば手を汚さずにうまくゆく。ある人は決して濾してはならぬといふが又他の會社パイロットあたりでは濾してゐると言つてゐる。まあこんなこととはどうもよい。
4、最後に瓶にレットルやマークを貼付すれば立派なインキが出来上る。レットルも出来合がある。

第四液

色素 フォルマリン 五瓦 水 三〇〇cc

又熱愛してゐるのであるが此處に一言したきは吾等と相離す可からざる名稱として千曲會員たる名稱の存在である。母校を愛し會員たるを誇るは廣めて國家を愛し日の丸の國旗を愛慕する心に外ならぬ。故に今日吾等會員間に徽章有用の問題が出てゐるが、非常によい思付きと思ふ。或は他の學校會員を氣兼ねする人もあらうが、吾々同窓相互の親睦を計る上にあつても旅の道伴れを得る機會に於ても將又母校をしのぶよすがとするにも非常に有意義であると思ふ。マークの眞中に日の丸でも加えらるゝ優美さの點よりも、又吾人が見分けるにも都合がよい。何れマーク問題は代議員會に出る故話を移して行けば、お互の事でありがが他人を誤つて呼んだ時は呼んだ人も呼ばれた人も誠に氣まづい思ひがして嫌なものである。之の事は自尊心の強い人程然りと云ひ得る。

長所と云へばそれまでだが由來東洋人の姓名は甚だ六ヶ敷しく、讀み難く、書き難い。西洋人の姓名は吾人の様に餘り語學の道せぬ者でも割合に通じ易い様だ。小生は常用の名刺に振假名を附してゐる。長男をタケヲと呼ぶ人は恐らくない。理屈付ければ兎に角さうも讀むらしい。だから失禮とは思ふが誤つて呼ばれるより餘程いいと思つて付けて置く。生れが長男であつた故に役場の間違ひだと云ふ事だ。之は一例だが兎に角日本人の名は讀み難い。而して人口が増加すればする程姓名の増加するは當然である故其間接ひ同姓同名者の出現が考へられる。然し此問題の解決は至極困難で内閣に姓名局も出来て整理して行かぬ限り永遠の問題として残される。自己の存在が社會的に認められる様にならねばなる程己が姓名に愛着を感じ他方に於て同姓又は同名者の存在が氣に懸つてならなくなる。それだからとて其の地位に迄なつた人（恐らく相當の年配もしてゐるだらう所の）は同姓同名者の出現に依つて俄に自己の姓名を換へる事は到底忍び難い所である。古語だが會で（いや現在も）濱口富士子と云ふ姓名の人が二人居た。一人は當時首相夫人、他の一人は賣出しの人氣女優だが、何れからか同姓同名で迷惑至極である取消運動で採りに採んだが一方も姓名を命と同様に大切な商賣大いに頑張つて、遂々採消されずに済んだ様だ。自分で好んで取換へざる限り仲々に取換へ難きは理の當然である。所が只同姓と云ふ丈でも間違ひの起つた話は度々聞く。新聞に、雜誌に、電信、電話に人口の増加と正比例して間違ひも増加して行くことだらう。會で九州帝大農學部の田中博士が南支那に旅行された時の話であるが、田中と云ふ姓は支那人の間に餘りよい感じを與へない。何故なら彼等は故田中義一大將の政策に強い反感を抱いてゐた。故に人が異つても田中と云ふ姓名を聞くといふと頭に反感を呼び醒すらしい。其

の爲に博士も相當の苦い經驗を持たれたとの事である。こんなのは故人との問題であるが此れ位の事は世間にはザラにある事と思ふ。親の仇を子が打取り、子の因果が孫に及すと同様一門一統の争ひも當事の様に繰返した昔時にはどんなに多くの笑へないナンセンスが起つて居た事だらう。吾々蠶業界にも同姓或は同名の人士が相當に多い事と思ふ。小生の知つてゐる人でも代表的な姓名は（此處に出して申譯ありませんが）中田太郎技師で、而してお互に蠶業關係で一人は福岡、一人は神奈川と遠く離れてゐるから案外御本人同志は氣にしてゐないかも知れないが、小生等は常に何事か起りはせんがと氣を揉んでゐる。官報の辭令にしても農林技師何々某だけでは解り兼ねる。どちらに祝電していいやら。荷同じ蠶業界に中島茂氏がゐる。一人は長野市他は宮崎市に御住所があるが他の見る目には何うも間違ひが起りそうに見えてならない。去る八月の事、當地の新聞には「人間になる幽霊」と云ふ頗る獵奇的な大見出しの記事が出た。事の真相を簡單に書けば次の通だ。大江戸は深川區に寄留して大川筋を流してゐる遊藝船の船頭海老原利三郎（五〇）なる者、よくある話だが五年前から戸籍上では死亡してゐる事をよく知つてゐる。それで選挙の時などは幽霊が投票に来たと皆から駭かれ、又子供が生れたとて役場に届け出ると、幽霊が赤坊を作る理由が無いと符箋付で歸されぬ。而し御本人は役場との交渉が起る都度俺は死んでゐるんだと意識はするが、實生活には何等不便もなく、事實確に生きてゐるをどうやらと放擲し、役場でも進んで此の『？』の人間の解決に當らうとしないかつたのである。間違ひの原因は郷里茨城縣取手町に海老原利三郎が二人ゐて兩人共東京に出稼してゐたが一方が昭和四年死亡した時に役場で遂に利三郎が取

進へられてしまつたのである。こんなのは全く傑作特選の同姓名異聞と云ふ所だらう。昔から人間が死んで幽霊になつて出た話は多く聞かぬが幽霊が人間になつた話は珍らしい。僕は役所の往復必ず墓場を通る。八幡様の境内から、小學校、お寺の庭を横切り中學校のグラウンドを掠めて、次は二十三夜堂を拜しそして墓場の線香臭い中を通り恰も愛宕神社の境内にある如き役所へと通つてゐる。之の道は一番近道で朝寝坊な僕には至極便利な道である。此の毎日通る墓場には水戸學の唱導者藤田東湖先生の奥城を始め、櫻田門事變に有名な水戸烈士の墓も忠魂碑も祭られてゐるから等々多くの故人の靈に毎日接してゐる。先日常常の様に石碑の様な色や形や成分、組成、成因或は又似かよつた故人の姓名をあれこれと算へ乍ら此の墓場の出端れにある茶店の前に來懸ると僕の眼には懐しい彼の越中富山の毒消賣が四五人茶店に腰掛けたり佇んだりして何やら聲高に笑ひさうめいてゐた。何事かと消え行く笑聲を盗んで聴くと何うです、驚くではありませんか。今の幽霊は洋服で腰掛だ、正しく小生の笑ひ話した。餘り聞いた事のないナンセンス。兎に角姓名は吾人の無形の名義代表者故に自己の姓名尊重と同時に他人の姓名に對しても同様の尊敬心を持つて接したい。同時に又姓名尊重論よりして國家的に誤謬無からん様將來の統制上姓名局の設立を希望するのである。犯罪に指紋が役立つ如く姓名の統制も此方面より考慮するも充分の價值あるものと思ふ。今や吾々同窓生間にも數多くの第二世が生れ出る事であらうがよく／＼熟慮して縁喜よく呼びよ／＼よく／＼書きよ／＼して將來の誤りの起らざる様十分なる注意を喚起せん事を此の際希望してお

上田便り

菅平巡査派出所竣工 兼ねて新築中であつた上田警察署菅平派出所は十二月八日竣工式を挙

スキー大会 本縣スキー聯盟評議員會は十二月八日縣廳で開催左の競技日取を決定した。

一、第十三回全日本スキー選手権大會菅平平選會 昭和十年一月十二、十三兩日菅平スキー場、第一日、長距離(公開) 男女子滑降、第二日、ジャンプ、リレー

一、同飯山豫選會 一月十九、廿兩日飯山町大聖山スキー場、第一日耐久長距離(複合)、第二日ジャンプ、リレー 一、第三回縣スキー競技大會 二月十六十七兩日野澤温泉スキー場、第一日男子滑降、長距離、第二日女子滑降、ジャンプ、男女子リレー

荒木大將來田 荒木大將は十二月十二日新宿發、諏訪、上伊那、松本、長野、上山田を経て十五日來田、上田飛行場、神科村のホームを視察し上田市公會堂で講演、別所温泉に宿泊、十六日生島足島神社に參拜、午前八時四十八分上田發にて歸京せられた。

新設鐘紡上田工場の規模 既報の鐘紡上田工場の新設は鐘紡本社でも上田市民の熱誠に開ゆるべく十二月中に起工式を舉行し直ちに地均工事七万坪(工費約十萬五千圓)を開始し次で明年九月迄に百間に六十間の鐵筋建の工場と八十間に六間の職工寄宿舎二棟を工費約七十萬圓を以て建築し力織機七百五十臺繅絲機三萬餘を設備し十月より繰業を開始する事に決定した。地均工事は現在の道路より二尺の盛土を爲すもので市の請負とし市の見積書が鐘紡の満足するものであれば本年中に着工する豫定であると云ふから本年末から來年へかけて約八十万圓の現金

が上田市へバラまかれ失業救済と同時に窮乏上田市は之れでよみがへる譯である。尙第二期工事としては残る三万坪を地均してメリヤス工場、洋服地工場を建設すると云ふ。市では早速十萬坪の敷地の信越線沿ひに面したタン板二枚繼ぎへ一字宛鐘紡上田工場敷地と大書せる大立看板を建てた。

菅平郵便局開設 例年の如く上田郵便局では菅平スキー場菅平ホテル前に十二月二十日から明年三月末日迄の間臨時郵便局を開設しスキーヤーの便宜を計る事となつた。

スキー案内所設置 上田觀光協會では舊松尾町交番を借受けスキー案内所を設置し美しいサービスガール二名を置きスキー場は勿論附近温泉名勝の案内に當る事となつた。

丸鐵が電車の間にガソリンカー運轉 丸子鐵道では十二月廿八日七十四人乗がソリンカーが到着一月一日より現在の電車の間に數回に渡り運轉する事に決定した。たから乗客の爲めには便利である。

新鹿澤温泉スキー場 上田温泉で菅平の事を書いたからこつちでは新鹿澤を書く。新鹿澤スキー場は群馬縣嬭懸村にある。順路は菅平口迄は菅平行と同様で乗車券は「菅平口」迄とすれば汽車賃、電車賃、自動車賃を通じて割引がある。菅平口から新鹿澤迄十軒(雪量少ときは溢澤迄バスあり十軒)の間には馬橋(四十五錢)あるもスキーを穿けば一氣に温泉場へ到着する事が出来る。

温泉旅館は増屋、小増屋、鹿鳴館、鹿澤館の四軒、收容人員約七百人、宿泊料は

一泊三食付一圓八十錢である。スキーによきスロープは温泉場の周圍にあり、殊に田代牧場に到れば雄大なスロープは、數里に渡つて展開されてゐる。新鹿澤から四軒登ると舊鹿澤温泉スキー場へ達する。旅館は紅葉館、收容人員四百人、宿泊料は新鹿澤と同じである。(寫眞は新鹿澤スキー場)



二四 高田發一〇、二七 直江津着 〇、三八
直江津上野間 一月十三、二十、廿七日 二月三、十、十七、廿四日 三月三、十、十七日、直江津發後五、四〇
長野發九、〇〇 上野着前四、四五
スキー指導者の講習會 文部省では本腰でスキーの普及に乘出し先づ指導者の講習會を菅平高原体育研究所で開く事になつた。期日は一月七日から十三日迄一週間で受講資格者は中等學校卒業以上で

雪の菅平へ！
菅平スキー場は長野縣上田市外長村にある。海拔一、三〇〇米内外の標高を維持したる高原、上信國境にそり立つ嶺(二、一九五米)と四阿山(一、三三二米九)の頂上から緩く曳いた大傾斜面で、その雄大なスロープは雪の王者シュナイダー氏が、スキスのシニワルツ・ワルドに彷彿たりと激賞した所である。

交通は信越線上田驛下車、上田から眞田まで電車、眞田から菅平口まではバス、其處からスキー場まで六軒、スキーを穿けば一時間で行けるが、馬に乗れば、老若男女如何なる人々でも、徒歩の辛さを啣つことなく、完全に乗物を利用して楽々とスキー場まで行かれる。

雪質は、粉雪の日が多く、積雪は一米内外が普通であるが、全部芝生の高原であるから、極く僅少な雪量でも完全に滑走出来るのが菅平スキー場の他のスキー場に比較して斷然優越せる一大特色である。

宿泊設備としては、菅平ホテル、高原ホテル、鐵道省「山の家」他に旅館、農家等があり、全部の收容力は約二千名である。宿泊料は一泊三食で菅平ホテル一圓八十錢「山の家」一圓十錢其他の旅館、農家等は一圓十錢乃至一圓八十錢である。各旅館、農家には、貸スキーの準備があり、一日一臺の料金二十錢。

汽車賃は、東京、名古屋、大阪各鐵道局管内主要各驛から菅平口まで(汽車、電車、自動車を含む)割引がある。菅平口から各宿泊所までの馬賃は上り三十錢、下り二十五錢である。但しこの間の下り六軒は、スキーで滑降すれば愉快である。

海抜二、一九五米の嶺岳登高は、誰でも試むべきものである。上り三時間下り一時間半、頂上には物凄しい樹氷の怪物がある。下り六軒の滑降は、豪快無比スキーの眞の味は此處で初めて味はれる。

スキー指導者を志す者六十名で縣では本家の面目上多數受講させるべく市町村長中小學校長宛勸誘狀を發した。講師は左の通りである。
冬季体育運動概論(文部省學校衛生官栗本義彦氏) 体育運動指導概論(体育研究所技師大谷武一氏) 一般スキー術競技スキー術、登山スキー術(縣視學池野廣中、全日本スキー聯盟藤生武治、中川新馬場忠三郎諸氏)
因に母校よりも二名參加する筈になつてゐる。

菅平から別所温泉へ
誰でも大なる勞苦の後は、大なる休息を欲するが如く、雪深い菅平スキー場で、充分にスキーの滑走を樂しんだならば、その歸りには當社沿線の別所温泉で、温い湯煙りに包まれて、ゆつくり休憩するのが、心身の保養上最もよいことと思ふ。別所温泉は上田驛より電車で三十分、最も適當な位置にある。旅館は十二軒、何れも内湯の設備があるが、別に共同浴場が四ヶ所あり、就中石湯は天然岩石の浴槽で、温泉は岩間より湧出し、古くより名湯として知られてゐる。

當社では別所温泉行スキーヤーの爲め左の様なクーポン券を發行してゐる。
日 歸 券 (上田一別所温泉間往復電車賃) 食料
青 色 一圓十錢 白 色 一圓四十錢
宿 泊 券 (上田一別所温泉間往復電車賃宿泊料)
青 色 一圓九十錢 白 色 二圓四十錢
右のクーポン券は、菅平ホテル前の旅行案内所及當社各驛に於て發賣をしてゐる。(上田温泉電軌株式會社)

菅平から別所温泉へ
誰でも大なる勞苦の後は、大なる休息を欲するが如く、雪深い菅平スキー場で、充分にスキーの滑走を樂しんだならば、その歸りには當社沿線の別所温泉で、温い湯煙りに包まれて、ゆつくり休憩するのが、心身の保養上最もよいことと思ふ。別所温泉は上田驛より電車で三十分、最も適當な位置にある。旅館は十二軒、何れも内湯の設備があるが、別に共同浴場が四ヶ所あり、就中石湯は天然岩石の浴槽で、温泉は岩間より湧出し、古くより名湯として知られてゐる。

入 學 案 内

- 一、募集人員 養蠶科、製絲科、絹紡織科 通計約百名
- 一、出願期日 試験検定 一月十一日より三月十五日迄
無試験検定 一月十一日より一月卅一日迄
- 一、試験科目 數學(代數、平面幾何) 英語(英文和訳)
- 一、試験期日 三月二十五日(午前學科、午後體格検査、口頭試問)
- 一、試験場所 上田(本校) 東京(東京文理科大学) 名古屋(愛知縣廳) 京都(京都高等工藝學校) 岡山(岡山醫科大學) 福岡(九州帝國大學農學部)

教 養 成 科 入 學 案 内

- 一、入學案内書入用者は郵券二錢封入本校教務課宛申込次第送附す
- 一、募集人員 約二十名
- 一、出願期日 一月十一日より三月廿五日迄
- 一、試験科目 數學(代數、平面幾何) 國語(作文を課する事あるべし)
- 一、試験期日 三月末日の豫定
- 一、試験場所 本校

上 田 蠶 絲 專 門 學 校

蠶 絲 學 雜 誌 七 卷 二 號 發 行

十一月號で近々發刊の豫告を出した譯ですが色々事情で十二月發行の止むなきに至り申譯なく思つて居ります。此の時報御覽の頃には御手許に御送り致してある筈です。内容も豫告とは多少相違し總頁數は一〇〇頁許りになりました。内容目次は次の通りです。

- 報 文
- I、ヘテロプロイド蠶の細胞學的研究……………佐藤 春太郎
 - II、蛹油の固體成分に就て……………金子 英雄
 - III、桑樹の乾燥氣象に對する適應能力に關する二、三の考察……………山本 賢市
 - IV、全 第一報 組織構造上より觀たる要因……………池田 正五郎
 - 第二報 機能的に觀たる要因……………池田 正五郎
 - V、滿洲柞蠶繭絲に關する試験(一)……………井上 柳 梧
- 調 査
- 1、『くはのすりつぷす』に仍る被害桑に就て……………小林 重男
 - 2、家蠶の保健劑に關する實驗……………中山 茂
 - 3、紡績絲の銘柄に就て……………香山 清和
- 資 料
- 朝鮮往古の裁桑法に就て……………矢澤 茂登一
- 尙次號は三月二十日迄に原稿締切をいたします、何卒御寄稿願ひます。

學 術 研 究 會 『 養 蠶 部 會 』

十二月號に豫告いたしました養蠶部會は二月二十四日(日曜日)に開催の豫定です。何卒研究發表や色々問題の提げて御出席下さい。詳細は山口迄御申越下さい。(山口記)

母 校 ニ ュ ー ス

齋藤菊雄君(蠶六)藥轉 長野縣蠶業試驗場上田支場長瀧島政衛氏が今回福島縣へ轉ぜられたので其の後任として十二月十一日附を以て長野縣蠶業取締所上田支所長、本會理事齋藤菊雄君が榮轉せられる事となつた。十六日午後四時より市公會堂に於て兩氏の送迎會が行はれ母校よりも多數職員が参加した。

早川教授放送 母校教授農學博士早川直瀨氏は十二月十二日午後七時半から長野放送局より講演『農村經濟更生如是吾觀』を放送した。

談話會納會 十二月十四日午後三時から第十一教室に於て本學期の談話會納會を開催した。終了後井會を催した。演題及講演者を左に記す。

- 一、絹毛の一製法に就て 小林 尙一
- 一、昭和九年蠶種業界片々 山口定次郎
- 一、最近の物理學界 原田 教授

蠶絲業上の種々なる問題 井上教授 母校職員の出金決定 十二月十八日午後一時より第八教室に於て職員會議を開き明年行はるべき廿五周年記念事業に對し俸給月額の一を十五ヶ月に亘り離出する事を決定した。

在田千曲會忘年會 十二月廿日午後五時より上田公園内富貴に於て在田千曲會忘年會を開く。出席者は四十五人なかなかの盛會であつた。

先づ蒲生理事長の挨拶あり次いで飯島正胤君校外會員を代表して校内會員に對し謝禮の辭を述べ次に會澤君から理事長が本忘年會に多分の御寄附下さつた事を報告し、感謝の辭を述べ

べ宴會に移る。斯くして一同最も愉快に飲み且つ語り八時に近く箕輪貞三君の發聲にて在田千曲會萬歳を三唱散會した。

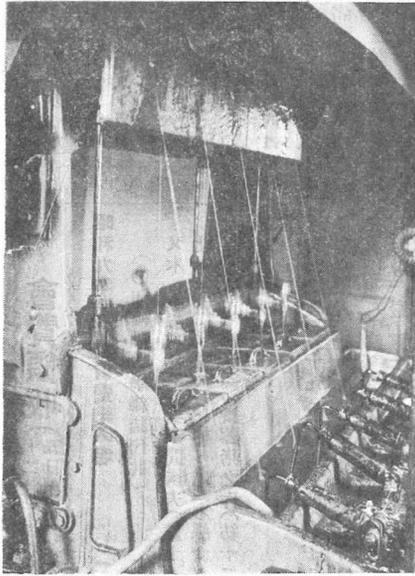
母校廿五周年祝賀に上田市の協賛 十二月廿一日の上田市會に於て明年十月舉行される上田蠶絲專門學校廿五周年記念祝賀式に對し千五百圓を計上し之を協賛する事を決定した。

實業教育五十周年記念式舉行 母校では十二月二十四日午後〇時三十分より講堂に於て實業教育五十周年記念式を舉行した。

金子教授榮進祝賀忘年會 今回母校教授金子英雄氏は理學博士の稱號を授與される事に決定したのでこれが祝賀旁々忘年會を十二月二十四日午後五時半より觀水亭に於て開催した。

學期末試驗 二學期の授業は十二月十五日限りで十八日から學期末試驗が開始された。街の人々が『この頃専門の學生さんがちつとも見えませんねえ』と云ふ。現金などのノートの整理や試験勉強で寧日なしと云ふ處さ。筆者も往年の苦しみを思ひ出し思はずとす。之の試験も廿四日で終了し廿五日から來春十日迄冬季休暇となる譯である。大抵は懐しの父母の許へ飛んで歸つて行くが中にはスキー場へ越年する者も相當あるだらう。

人絹への就職多し 各科に依つて多少の相違はあるかそれ／＼卒業生の就職時



影撮眞寫坂石 前天辨市田上

校 友 會 記 事

山岳部行事 山岳部では十二月廿五日より來春一月十日迄菅平スキー場本校ヒュッテに合宿しスキー練習を行ふ。之は一月十二日、十三日兩日菅平スキー場に於て開催せられる第十三回全日本スキー選手權大會中部豫選大會に出場の爲めである。

本 會 記 事

十二月六日 出版法の改正に伴ひ警保局へ蠶絲學雜誌の出版届提出す。同時に出版手續の省略を出願せり。

十二月十一日 故佐藤愛之君(蠶九)の告別式執行せらる。本會を代表し林理事會葬せり。

十二月二十日 上田公園内富貴に於て恒例による在田同窓生の忘年懇親會を開催す。

十二月二十日 千曲時報一月號は特に一月一日に發行する故、臨時發行日變更届を上田郵便局經由名古屋逓信局に提出す。

叙 任 辭 令 (千曲會之部)

- 昭和九年十二月一日
- 從七位 同 金 兒 文 夫
 - 同 同 寺 島 親 雄
 - 同 同 丸 山 武 夫
 - 叙正七位 同 中 澤 勝 也
 - 叙從七位 同 三 好 彌 市

支會通信

熊本に校長先生を御迎へして

校長先生が鹿兒島高農の二十五周年記念式御参列の爲め南下されるだらうと言ふ様な豫感...

愈々今秋になつて鹿兒島の記念式も近づいて来たが上田の方から何の音沙汰もない。岐阜高農の記念式には御参列の様であるから必ず御出掛けになることと思はれるから此際久し振りに何時頃御来臨になつたか記憶して居る人は千曲會員の中には無い。是非共熊本へ御立寄りを願ひ最近の熊本を御紹介し度いと言ふのが我熊本千曲會員一同の切なる願ひであつた。上田の學校よりの通知は待てど暮らせど来なかつた。十一月十九日にもう皆がこらへきれなくなつて太田さんと相談して校長先生宛お願ひの電報を打つた。直ぐ返電だ。中味は熊本は御通過と言ふ泣きたい様な電文だ。これでは諦め様にも諦められない。何かよい方法はないかと太田さんや熊本農學校の井手さんと相談して居る時又電報だ。今度は御多忙な日程を御都合になつて我熊本千曲會員の切なる希望を御快諾二十二日御立寄と言ふ御知らせで一同喜びに満された。それでは早速準備にかゝり市内の會員全部を集合して協議した。何にしろ午後四時四十分熊本驛着午後三時五十分鹿兒島へ向け御出發と言ふ様な極めて短時間のこと故折角の御立寄りに際し御慰勞申し上げる術も見つからない。時間は一分の無駄もない様に先づ上熊本驛でお迎へをしそれから校長先生には甚だ御疲れの最中御迷惑であらうとは思はれたが會員の發展上及其他種々の關係上より市内を御案内する様プランを立て郡部の會員へも通知を出したり校長先生宛感謝の電報を打つたりした。

愈々待望の二十二日は来た。天氣は小

春日和で正午前から上熊本驛には縣廳の小西内務部長、縣蠶業試験場の松山場長、肥後製絲蠶種部元上田蠶試支場長、石井彌平氏、肥後製絲清野常三郎氏、西村不共氏、田代茂氏等の諸氏も御迎への爲め見えられ、熊本千曲會員は僅か二三の會員を残した以外は全部集合と云ふ成績にて列車の入り込むのを待たつた。列車は着いた。待ちに待つた校長の温顔は遂に見えなかつた。何か間違ひがあつたのではないかと心配して居ると太田さんの所には既に入電があり、次の急行でお出でになるとのこと一同始めて安心した。約四十分間待つと愈々急行列車が着いた。久し振りに元氣に満ちた校長先生に接し一同喜色に溢れ挨拶もそこへに縣廳に自動車向けられ蠶絲課及内務部長室に御案内申し上げ約二十五分の後縣の蠶業試験場へお立寄りを願ひ場内を御巡覽熊本の名物水前寺公園を通り抜け休憩所に宛てられた驛のそばの松の井旅館に自動車急がせた。時間の都合上地元元の肥後製絲、長野蠶種組、及國立蠶業試験場へ御案内出来なかつたのは洵に残念であつた。

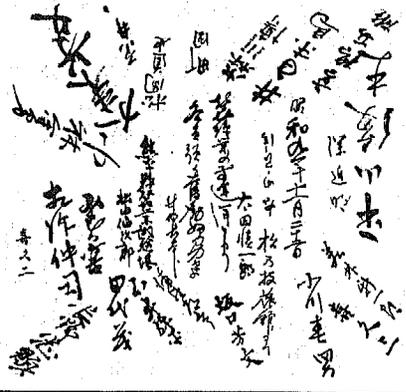
本當に僅かの時間ではあつたが松の井旅館の集りは和やかなもので御馳走とては無く唯熊本名物の四五を御目に掛けただけ過ぎなかつた。肥後の俚語「おてもやん」も御紹介に及んだが既に先生が御承知の由であつた。名物の肥後美人を御紹介する時間も許されて居らなかつた。記念の寄せ書は始められ校長先生が第一番に「蠶絲業の前途洋々たり、各員奮勵努力せよ」と大書せられた。今の蠶絲業の現状から見てこの文句は日本海々職に於ける東郷元帥の旗幟三笠に掲げられた信號以上に意義あるものにして何時も變らぬ元氣に満ちた激勵の言葉に一同感銘する所が深かつた。

やがて御別れる時間が来た。記念の

撮影も終り熊本驛で萬歳の聲と共に御送りました。午後三時五十分であつた。思へば我熊本千曲會の我儘なる希望を御容認せられ長旅に御疲れの際御多忙な日程から貴重な時間を割愛せられ熊本に御立寄り下さつた御恩は決して忘れられるものではない。

校長先生を御送りしてから一同は秋季總會を新市街の料亭うろこに開催久し振りの會合のこととて痛飲數割上田仕込みの隠儀續出、席に侍つた美形そつちのけと言ふ底抜け騒ぎに解散した時間は何時か筆者も知らない程の酔拂ひ振りであつた。當日校長先生出迎への會員は次の諸氏である。(順序不同)

- 坂口 芳文 松岡 道也 森川 博 高橋 安雄 若林新一郎 相澤 仲司 加來 芳文 町田 正直 小川 春男 太田 良信 平山 俊夫 長野 忠顯 原井 國男 井出 末馬 深迫 明 太田慎一郎 小林 重男(十二月初旬 小林記す)



- 故三谷徹氏記念(十二月十五日) 資金寄附者芳名(現) 在 金五圓也 吉田 榮 治 金參圓也 牧野 弘 金壹圓也 北本 重 郎 合計金九圓也 累計金壹千四百參拾貳圓五拾錢也

會費領收(十二月十日現在)

- 昭和九年度通常會費納入者 (〇印は蠶絲學雜誌代共) 又木 善義(蠶七) 本間廣夫(蠶十七) 北本 重郎(蠶八) 林 謹一(蠶十八) 益淵誠正(蠶廿) 齋藤猪之作(紡十二) 入會金納入者 完納者 吉田正雄(蠶十九) 野田太郎(蠶十八) 宮原秀人(蠶十九) 平山俊夫(蠶十九) 金五圓也 町野 巖(蠶十九) 宮城 薫(蠶十九) 角田 收(蠶二十) 坂口芳文(蠶廿一) 井野正夫(蠶十八) 鳥羽 誠(蠶十九)

廿五周年記念事業

- 第八回贈出金申込者(十二月十八日) 在 五口(七名廿五口金額百七拾五圓也) 菅原 勇治(蠶一) 木脇 寅熊(蠶四) 中澤 忠(蠶二) 伊藤 柳作(蠶一) 戸田 勝一(蠶二) 都筑 賢吉(蠶四) 森山 二郎(蠶四) 四口(七名廿八口金額百四拾圓也) 廣井 俊一(蠶五) 糟谷選三樓(蠶六) 安仲 勳(蠶九) 提 玄(蠶九) 小山 俊吾(蠶十) 小山 雅夫(蠶十) 茅野清三郎(蠶十五) 三口(八名廿四口金額百貳拾圓也) 西山市三(蠶九) 山形新太郎(蠶十二) 片山次夫(蠶十五) 牧野 弘(蠶十一) 左右田武(蠶十二) 細田親二(蠶十五) 三谷 勝(蠶十五) 笠原 豊(蠶十五) 二口(十三名廿六口金額百參拾圓也) 桑原四右衛門(蠶十六) 高瀬毅一(蠶十八) 永井俊郎(蠶十六) 山崎通雄(蠶十七) 叶澤純一(蠶十七) 宇根山哲夫(蠶十七) 中村守太(蠶十七) 矢島隆之助(蠶十七) 鈴木保男(蠶十八) 矢島文男(蠶二十) 服部彌一郎(蠶二十) 喜多尾緒門(蠶廿) 宮下和三郎(紡十二) 一口(九名九口金額四拾五圓也) 小松原徳治(蠶二) 平野秀男(蠶十五) 進沼光治(蠶廿一) 浦生 勇一(蠶十) 白井要範(蠶三追加) 林 謹一(蠶十八) 乾 正(紡十三) 關 にし(準會) 伊藤はる子(準會)

- 井田英夫(蠶二十) 白井美明(蠶二十) 森 剛夫(蠶廿一) 松崎武雄(紡十) 北澤琢郎(紡十二) 榎本健治(紡十三) 淺治製絲男(紡十三) 千曲會規則第九條第一項第三號による未納會費納入者 金五圓也 清水達太郎(蠶一) 菅澤 隆三(蠶一) 宮坂 正彦(蠶二) 小高 喬(蠶二) 磯野 良知(蠶二) 幾田 精一(蠶二) 野崎 清(蠶四) 高橋義三郎(蠶四) 小林 輝一(蠶四) 中川 潔(蠶三) 久保田一徳(蠶四) 吉澤 武夫(蠶四) 金四圓也 蠶絲學雜誌代 金壹圓也 玉木 勝彰(蠶一) 岸 勝彌(蠶三) 合計人員 四名 合計口數 一二二口 合計金額 六百拾圓也 第八回贈出金納入者(十二月十八日) 在 (〇印は完納) 金參拾圓也 〇桂 應祥(蠶九) 金貳拾五圓也 〇高島 秀男(蠶二)〇藤見 豊一(蠶四) 〇戸田 勝一(蠶二)〇府川 作平(蠶二) 〇伊藤 清(蠶五)〇船越 重勝(蠶五) 〇三浦 重雄(蠶七)〇長野 忠顯(蠶七) 〇金貳拾圓也 〇勝又 藤夫(蠶九)〇若林新一郎(蠶十) 〇白井 要範(蠶三) 金拾五圓也 〇彼末 武猪(蠶三)〇山崎 修也(蠶三) 〇頼本 啓一(蠶三)〇濱 香三(紡三) 金拾圓也 〇川村吉太郎(蠶九)〇市村志真衛(蠶六) 〇高瀬 毅一(蠶一)〇榊原 敏男(蠶九) 〇中曾根靜三(蠶六)〇齋藤猪之作(紡三) 〇宮下和三郎(紡十二) 金五圓也 〇小松原徳治(蠶二) 又木 善義(蠶七) 〇平野 秀男(蠶五)〇進沼 光治(蠶廿) 〇北本 重郎(蠶八)〇本島 正美(蠶九) 〇浦生 勇一(蠶十)〇林 謹一(蠶十八) 〇永井 覺氏 〇島田 玉子(準會) 〇笹井ヨキ子(準會)〇兒玉 孝(準會) 〇橋本 あい(準會)〇伊藤 はる(準會) 〇清水はるい(準會)〇關 にし(準會) 合計金額 五百圓也 累計金額 四千貳百七拾四圓也

訃報



影近君之愛藤佐故

御逝去通知

本會會員 佐藤愛之君(蠶九) 十二月八日御逝去せらる。謹んで哀悼の意を表す。

弔慰金募集

本會々員 故佐藤愛之君(蠶九) 同君に對し弔慰金を募集致します。

- 金貳圓也 原 清志
金壹圓也 佐藤重太郎 萩野 上風
合計金四圓也
故井熊虎太郎君弔慰金三圓
累計金四圓也
都筑 賢吉
金貳圓也
故松田敏三君弔慰金第三回
金參圓也 鈴木 誠一
金壹圓也 水谷 郷一
右合計金四圓也
累計金拾參圓也

故佐藤愛之君御遺族よりの書狀

拜啓今回父愛之葬送の際は御鄭重なる御弔詞を賜り候段御芳情の程深く感銘仕候。先は御禮申上候敬白

昭和九年十二月十八日 女 佐藤 さ ち

佐藤 八郎右衛門

謹んで申し上げます。愛之生前中は一方ならぬ御厚情を賜り荷病中永い間格別の御心配と御慰問を頂きましたことを衷心から深く御禮申し上げます。

けれども本人は皆様方の厚き御同情を感謝して誠に安らかに此の世を去りました事とせめての慰に致して居ります。

佐藤 八郎 右衛門

佐藤愛之君の思出の事共

勝 又 藤 夫

養蠶九回である私共のクラスは昭和九年は苦の字に通ふところがあるのか随分苦痛の多い年で非常時が一九三四年に來てしまつたことを痛感し此の文を書かねばならぬ悲運を歎かねばならない。

會員動靜

(十二月二十日現在)

- 齋藤 菊雄 (蠶六) 勤) 上田市、長野縣蠶業試驗場上田支場(住)從前通り
又木 善義 (蠶七) 勤) 宮崎市、宮崎縣蠶業試驗場(住)宮崎市末廣町三丁目
萬石 安太郎 (蠶九) 勤) 秋田市、秋田縣蠶業第二課(住)秋田市檜山三枚橋八
十二月八日死亡
佐藤 愛之 (蠶九) 勤) 福島縣白河町、福島縣蠶業取締所白河支所
樋村 忠義 (蠶四) 勤) 京都府綾部町、郡是製絲株式會社事務所
倉元 隆太 (蠶二〇) 勤) 長野縣埴科郡南條村七〇九(除隊)
赤賀 彰夫 (蠶二〇) 勤) 岐阜縣土岐郡釜戸村四五三(除隊)
町田 史郎 (蠶二〇) 勤) 岐阜縣土岐郡釜戸村四五三(除隊)
高野 賢造 (蠶二一) 勤) 長野縣上水内郡中郷村二七〇(除隊)
鈴木 正悟 (蠶二一) 勤) 富山縣八尾町、富山縣蠶業取締所八尾支所(入營)三重縣一志郡久居町、歩兵第三三聯隊留守隊第四中隊
鈴木 鐵治郎 (蠶四) 勤) 鳥取縣東伯郡日下村上井、保證責任同業製絲販賣購買利用組合
黒岩 覺 (蠶九) 勤) 廣島市、廣島縣蠶業取締所(住)廣島市水主町三五三
笠原 直助 (蠶一〇) 勤) 岡山市上伊福、備前製絲株式會社岡山工場
神津 輝人 (蠶一六) 勤) 從前通り(住)水戸市常磐町五ノ七七五
櫻井 啓四郎 (蠶一七) 勤) 京都府東雲町、朝鮮生絲株式會社
德永 忠祥 (蠶一八) 勤) 新潟縣村松町、片倉製絲株式會社
馬場 武 (蠶一八) 勤) 愛知縣岡崎市、片倉製絲株式會社
宮原 秀人 (蠶一九) 勤) 長崎縣諫早町、片倉製絲株式會社
荻原 行雄 (蠶二〇) 勤) 群馬縣碓氷郡里見村中里見四七(除隊)
山本 金之助 (蠶二〇) 勤) 滋賀縣栗太郡志津村馬場三八五(除隊)
鈴木 正 (蠶二一) 勤) 大阪府南河内郡柏原町、柏原紡績株式會社(整部)除隊
乾 正 (蠶二一) 勤) 愛知縣岡崎市日名町、日本レーヨン株式會社岡崎工場(住)同社宅
笹川 ヨキ子 (蠶二四) 勤) ナシ (住) 上田市天神町
久保田 松藏 (蠶三四) 勤) 岐阜市外島村、美濃乾粕組合
峯村 眞一郎 (蠶三三) 勤) 岐阜市、鐘淵紡績株式會社松本工場原料部
鹽見 喜六 (蠶三三) 勤) 群馬縣新町、鐘淵紡績株式會社新町工場
富田 清三郎 (蠶三三) 勤) 群馬縣新町、鐘淵紡績株式會社新町工場
石井 庄三郎 (蠶三八) 勤) 群馬縣信夫郡野田村大字笹木野、鐘淵紡績株式會社笹木野工場(住)福島市三河町六丁目通
榊原 春彦 (蠶三八) 勤) 茨城縣結城町、鐘淵紡績株式會社結城工場
湯澤 重敬 (蠶三九) 勤) 岐阜市本莊、鐘淵紡績株式會社岐阜工場
湯澤 兼光 (蠶三九) 勤) 岐阜市本莊、鐘淵紡績株式會社岐阜工場
相澤 伸司 (蠶三九) 勤) 京都府福知山町、鐘淵紡績株式會社福知山工場
南 孝三 (蠶三九) 勤) 熊本縣上益城郡甲佐町、鐘淵紡績株式會社甲佐工場
川村 五郎 (蠶三九) 勤) 島根縣鏡川郡大津村、鐘淵紡績株式會社鏡川工場
望月 榮作 (蠶三九) 勤) 宮崎市大洗町、鐘淵紡績株式會社大洗工場
鈴木 信子 (蠶三九) 勤) 松本市外島内村、鐘淵紡績株式會社松本工場
(舊教一四) 勤) 福島市森合、鐘淵紡績株式會社福島工場

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

副田好美

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

市原文雄

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

太田三郎

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

野口新太郎

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

小松忠一郎

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

櫻井隆夫

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

宮下丈夫

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

三宅玉留

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

小林尚一

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

茨木こう

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

瀧澤もとゑ

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

牧野久

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

堀内波

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

山崎ゆり

謹賀新年
昭和十年一月一日

上田蠶絲専門學校

山越さと

謹賀新年
昭和十年一月一日

新潟縣小出町
新潟縣蠶業試験場

新穂利吉

編輯室より

◇明けまして御目出度う御座います。昨年中は一方ならぬ御厚情に預り有難う御座いました。尙本年も相變らず御援助御授け下さる様備にお願ひ致します。本紙の發展は同時に千曲會の進展である事を呉れ々もお忘れ下さいませ。昭和十年一月一日

千曲時報編輯室

香山清和
鷹野誠一
平尾孝平
細川豊

◇校長先生が御多忙中寸暇を割かれて年頭の辭を御執筆下さいました事に對しては誠に感謝に堪えぬ。その内容たるや渾沌たる業界に對し進路を示して餘す處がない切に諸君の再三判讀せられん事を望む。

◇本紙の發行間近になつて編輯子は病魔に犯され臥床の身となつた。毎日病床で鷹野誠一君と共に原稿の整理をした。新年號に房はし様な種々な新しいプランも建てゝゝながら面倒腐くなつてよしてしまつた。床に就く事は何時も上調子に飛廻つてゐる編輯子にとつては神が静思の時間を與へて呉れたのだと思つて感謝(?)してゐる。

◇先月號の本欄でスキ一の宣傳をしたが肝甚の雪がとんと降らぬ。不作の年は雪迄不作であると思える。菅平の損失は一万圓に近いと云ふ。氣早のスキーヤーは菅平ホテルでつれづれなるまゝにキングを讀んでゐるそうである。

◇可成注意はしてゐる積り

であるがどうも誤謬の多いのに恐縮してゐる。先月號も第十一頁「再び名簿に就て」に對し執筆者篤之氏を脱漏せるが如きは重大なる不注意と云はねばならぬ。敢えて、記してお詫びを申上げる次第である斯くの如き誤謬を生ずる原因は編輯子の頭の血の巡りの悪しきに依るならんも亦編輯、校正、發行の時日極めて短かきも關係無しとしない。

謹賀新年
御來店のお土産は
みずい餅 上のフルーツ
杏ゼリー チョコレート
杏仁餡 黒羊羹
杏羊羹 クルミ羊羹
信濃そば 果物類 雜貨詰
上田市松尾町
上飯島商店
電話二六〇二五

謹賀新年
千曲會指定旅館
上村ホテル
上田市海野町
電話三二七番

謹賀新年
紡織、蠶絲、レヨン、電綫、理化學
其他諸機械器具、冷凍機械裝置
設計及製作
旭工業商會
正會員 飯島貞雄
東京市芝區田村町三ノ七
電話芝(四三)一七二八

謹賀新年
◎式煮繭機
◎式多條機
特許TM式ストーカー
特許TM式コールセンター
製絲機械器具一般
設計請負
高崎市赤坂町七六番地
坂路商店
電話一〇九番
振替口座東京云三九番